対象がん腫	ﾚｼﾞﾒﾝ番号	ﾚｼﾞﾒﾝ名	ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ	催吐性	血管への影響
大腸がん	R03611	FOLFOXIRI療法（高催吐）	14日	高度	ｲﾘﾉﾃｶﾝ：炎症性 ｵｷｻﾘﾌﾟﾗﾁﾝ：炎症性 ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ：炎症性

留意事項

経口制吐剤：ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ125mg(day1),80mg(day2,3)、ﾃﾞｶﾄﾞﾛﾝ錠8mg(day2-4)
ｵｷｻﾘﾌﾟﾗﾁﾝ投与と同時に側管からﾚﾎﾞﾎﾟﾘﾅｰﾄを投与（※1）
持続点滴のﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙは、全量95mLでｲﾝﾌｭｰｻﾞｰﾎﾟﾝﾌﾟ2mL/hrで投与（※2）

Rp	薬品名	投与量	投与方法	d1	d2	d3	d4	d5	d6	d7	d8	d9	d10	d11	d12	d13	d14
1	生食『100mL』（光）生理食塩液 ﾃﾞｷｻｰﾄ6.6mg注/2mL アロキシ静注0. 75mg（5mL） ポララミン注5mg(1mL) ﾌｧﾓﾁｼﾞﾝ注射用【20mg】	1本 9.9mg 1本 1本 1本	点滴 25分	↓													
2	生食【250mL】（光）生理食塩液 イリノテカン塩酸塩点滴静注液	1本 150mg/㎡	点滴 1時間	↓													
3	5%ブドウ糖注射液(500mL) オキサリプラチン点滴静注液	1本 85mg/㎡	点滴 2時間	↓													
4	5%ブドウ糖注射液《200mL》「ﾌｿｰ」 レボホリナート点滴静注	1本 200mg/㎡	側管 点滴 2時間	↓ ※1													
5	生食《50mL》（光）生理食塩液	1本	点滴 5分	↓													
6	生食《50mL》（光）生理食塩液 フルオロウラシル注	1本 2400mg/㎡	持続点滴 46時間	↓ ※2													